

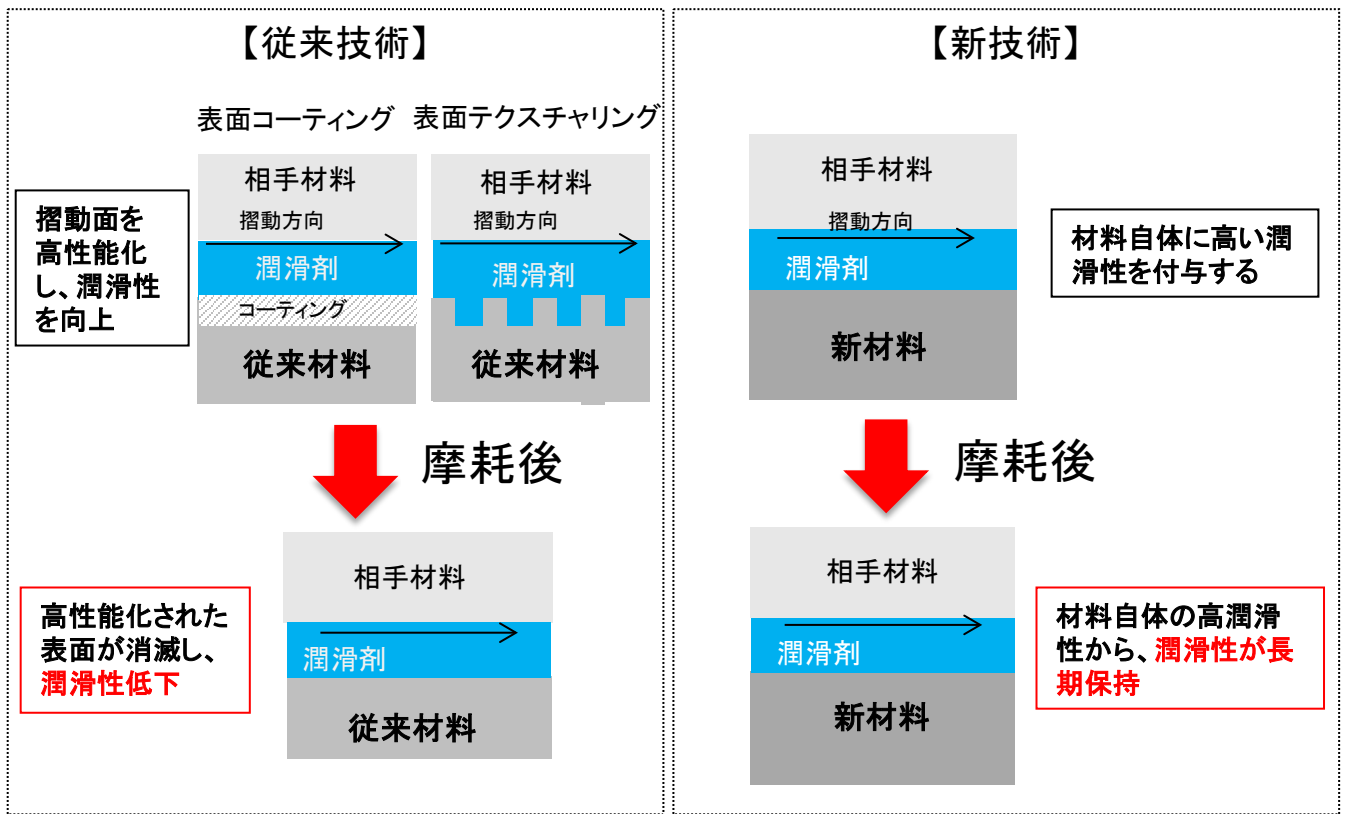
計画名：潤滑性、耐久性に優れた
メカニカルシール用部材の開発

- 認定事業者：美濃窯業(株) (愛知県)
- 共同研究者：名古屋大学、産業技術総合研究所 中部センター(愛知県)
- アドバイザー：(株)西島製作所 (大阪府)
- 川下事業者：メカニカルシールメーカー
- 事業管理機関：(公財)中部科学技術センター (愛知県)
- 主たる技術：(九)複合・新機能材料に係る技術
- 研究開発概要：

メカニカルシールはポンプなどの回転機械の軸封装置の1つとして、比較的密封性が高く、メンテナンスフリーなどの特長を有することから広範囲の回転機械に使用されている。

従来、潤滑性、耐久性向上のため、摺動面に表面コーティングや表面テクスチャリング処理が行われている。しかし、高性能化された表面が摩耗や剥がれにより消滅すると、その機能が失われてしまう。このことから、材料自体に高い潤滑性を持たせることが強く望まれている。

そこで、長期間使用しても潤滑性が保持される部材の開発を行い、本開発材料のメカニカルシール用部材への実用化を図る。



計画名：〇〇〇

- 認定事業者：(株)〇〇(△△県)(法認定事業者を全て記載ください。)
- 共同研究者：〇〇大学(共同研究者を全て記載ください。)
- アドバイザー：(株)〇〇(△△県)
(※アドバイザー(協力者)については、本資料に企業名等を記載することについて了解を得られれば、記載してください。)
- 川下事業者：〇〇メーカー
- 事業管理機関：(公財)〇〇(△△県)
- 主たる技術：〇〇(特定ものづくり基盤技術の種類の主たる技術(1つ)を記載ください。)
- 研究開発概要：

...

・戦略的基盤技術高度化支援事業提案書中の「(2)事業内容 2. 特定研究開発等の要約(全角200文字以内)」に記載いただいた内容をベースに、可能な限り分かりやすい文章を記載ください。

・当局等において、**本資料はPR用の資料として使用しますので、研究開発を行う上で、公表することにより問題が生じる恐れのある事項については記載しなくて構いません。**

【従来技術】

従来技術の課題・問題点を記載し、これに関する製造工程や製品・加工時の画像、イメージ図等を添付してください。

【新技術】

従来技術で記載した課題・問題点を踏まえ、それに対する本研究開発で行う内容を記載し、これに関する製造工程や製品・加工時の画像、イメージ図等を添付してください。